

ニュース

変化する街の動きをカメラレポート

熊本市中心部

大型マンションの建設相次ぐ

熊本市中心部で大型分譲マンションの建設が相次いでいる。九州新幹線の全線開業や政令指定都市移行を控え、熊本市を「有望な市場」として期待する福岡市のマンションデベロッパーを中心に建設しているもので、リーマン・ショック以降停滞していた熊本市内のマンション市場が再び動き出している。



▲新築住宅が千葉城町の旧熊本厚生年金会館跡地に建設している「アンピール熊本城」

旧熊本厚生年金跡地に「アンピール熊本城」11階建て、90戸を分譲 新築住宅

福岡市中央区の新築住宅(株)は熊本市千葉城町の旧熊本厚生年金会館跡地に11階建て、総戸数90戸の「アンピール熊本城」を建設している。同地(約7500㎡)は07年11月、独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構から一般競争入札で取得していたもので、長年開発の行方が注目されていた。

JR九州と西鉄が共同開発 大江6丁目に151戸

熊本市中心部でもう一つ、大型物件として注目されているのが、福岡都市圏を中心に分譲マンション事業を手掛けているJR九州(福岡市)と西日本鉄道(同)が両社初の共同開発として熊本市大江6丁目に建設している14階建て、総戸数151戸の大型分譲マンション「マークスシティザ大江」だ。



▲JR九州と西鉄が大江6丁目に建設している14階建て分譲マンションの建設地(左端は熊本市立図書館)

県内で150戸を超える大型物件が建てられるのは09年4月に着工した225戸の「ザ・熊本タワー」(同春日1丁目、12年3月完成予定)以来3年ぶり。場所は

慶徳堀町に78戸のエイルマンション 新規組の建設も相次ぐ

00年に熊本に進出し、「エイルマンション」ブランドで18棟、1274戸の供給実績を持つ作州商事(福岡市博多区)も現在、熊本市慶徳堀町の旭ビルディング跡地に14階建て、総戸数78戸の「エイルマンション慶徳イクシオ」を建設している。



▲作州商事が建設している慶徳堀町の旭ビルディング跡地(左奥はホテル法華クラブ)

在庫調整進み供給加速

このほか、新規組では福岡市博多区のアルパクリエイト(株)が熊本市南千反畑町に12階建て、総戸数33戸の「アルパガーデングランデージ白川公園」、福岡市中央区のトータテ都市開発(株)が熊本市新屋敷3丁目の産業通り沿いに10階建て、総戸数27戸の「ベルズ新屋敷」を建設している。

熊本市立図書館東側の日本郵政公社熊本レクレーションセンター跡地(6610㎡)。完成は13年2月下旬の予定。両社は平成22年九州地区マンション販売戸数ランキングで、JR九州が第1位、西鉄が第5位の実績がある。



▲熊本駅前に建設が進む地上35階、熊本最高層のタワーマンション「ザ・熊本タワー」

熊本を知ろう!

新聞・テレビでは知れない情報満載



熊本唯一の月刊経済誌 くまもと経済

定期購読受付中

年間(12回)購読料 19,000円 1冊 1,840円 県内書店・コンビニで販売